

2023年2月2日

会員の皆様へ

日本産科婦人科学会  
理事長 木村 正  
SARS-Cov2 新型コロナウイルス感染対策委員会 委員長 川名 敬

日本産婦人科医会が実施した新型コロナウイルス感染症の第6波・7波における産科医療機関  
の対応状況の全国調査のご紹介

平素、コロナ禍にあつての産婦人科診療にご尽力をいただき、まことにありがとうございます。

2023年5月7日から、新型コロナウイルス感染症は、5類相当に変更されることになり、COVID-19の終息に向けて社会全体が動き出しております。産科診療のコロナ禍での在り方も変容し始めております。昨年秋に、日本産婦人科医会が分娩取り扱い施設を対象とする産科医療機関の対応状況を把握する実態調査を実施していただきました。新型コロナウイルス感染妊婦の分娩方法、感染予防策、一次施設での分娩などの対応について、徐々に変化してきていることが窺えるデータをお示しいただいております。

ぜひご覧いただき、自施設での産科医療の参考にさせていただければ幸いです。また、日本産婦人科医会のHPでは、産科診療における感染防御ガイド～2022年版も掲載していただいておりますので、併せてご参照ください。

★日本産婦人科医会ホームページ★

感染防御ガイド～2022

[https://www.jaog.or.jp/about/project/document/guide\\_2022/](https://www.jaog.or.jp/about/project/document/guide_2022/)

第6波・7波における産科医療機関の対応状況の全国調査

[https://www.jaog.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/09/20221216\\_1.pdf](https://www.jaog.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/09/20221216_1.pdf)